

令和2年6月8日

ガイドラインに関する補足説明

一般財団法人全日本剣道連盟

一般財団法人全日本剣道連盟（以下「全剣連」）が6月4日に公表した「稽古再開に向けた感染拡大予防ガイドライン（全剣連ガイドライン）」についていくつかのご質問を頂いていますので、以下の通り補足説明をいたします。

（質問①）面マスクは息苦しくないか

（補足説明）

確かに息苦しくなりますが、今回は剣道稽古による集団感染発生を防ぐために飛沫飛散の防止を主たる目的としております。面マスク着用の際に、マスクと口の間少し空間を設けると息苦しさが緩和されます（横から見ると立体的になる）。面着用の際には顎のところは締まるので空気は逃げにくくなりますが、その分、面マスクの上部から空気が抜けるようになります。着用の際は、参考にしてください。

高温の場合、汗をかくので面マスクが濡れます。空気が逃げにくくなる可能性もありますので、ご注意ください。

以上のことから、面をつけたままで長時間稽古をするのではなく、短い間隔で面を外すことを繰り返しながら、稽古されることをお勧めします。

なお、全剣連は、引き続きガイドラインの改善を行っていく予定であり、その一環として近いうちに追加の試験を実施します。結果を得られたら、改めて報告します。